

平成 28 年 第2回福島区歴史研究会セミナー

テーマ

「 泣きながら 笑える女に 誰がいた 」

～川柳作家でもある なにわ女が身過ぎ世過ぎの
出来事を語る～

日時 2016年6月5日(日) 午後2時～4時

会場 福島区民センター 301号室

〒553-0006 大阪市福島区吉野 3-17-23 電話 06-6468-1771

講師 小川セツさん 元堀江新地最後の検番の女将

定員 50名 入場無料

連絡先：福島区歴史研究会セミナー担当 水谷浩一 ☎ 06-6451-3096



左より新町小川家二代目の頃、小唄は堀派師範、自宅で開いている東大寺直門「浪速なみはや説教所」にて
--- 大阪人2002年12月号掲載より ---

最寄り案内図



プロフィール

- ・昭和3年 大阪市西区堀江に生まれる(四姉妹の次女)。昭和6年から日舞、長唄を始めその後三味線、太鼓等一通りの芸事を身につけ日舞は名取、小唄は師範、短期間ではあるが、国民学校の教鞭を執る。
- ・昭和25年空襲で焼けた小川家を母親と共に復興する。
- ・昭和42年小川席名で検番を開業、新町に小川家再開、50年代には、桂米朝、小米朝、大村崑、夢路いと、中村鴈治郎、坂田藤十郎等々上方芸人が通い詰めた。
- ・現在川柳作家として句を嗜み、東大寺で得度した小川定津という法名で心の相談の手助けする日々である。

福島区歴史研究会 HP

<http://o-fukushima.com/rekishi/top.htm>